

二地域居住・関係人口による 人の流れの創出・拡大について



令和7年10月27日
長野県塩尻市

長野県塩尻市について

人口：65,000人

予算：300億円（R7 当初）

面積：290km²



交通の結節点



セイコーエプソン(株)の拠点
製造品出荷額 県内1位



伝統的工芸品・木曽漆器



中山道宿場町・奈良井宿



ワイナリー17社
ワイン生産量 県内1位



塩尻市特定居住(二地域居住)促進計画

令和7年3月27日策定



全国初、長野県初の事例として、令和7年2月に長野県から塩尻市の3つの地区が指定を受け、計画を策定。

促進区域

塩尻市都市計画マスタープラン、立地適正化計画、歴史的風致維持向上計画などの既存都市計画をベースに、発展させたい取組を考慮した上で、3つの促進区域を設定。

①大門地区（中心市街地）

- ・市街化区域
立地適正化計画における居住誘導区域にて区域設定
多くの拠点施設が立地

②北小野地区（一部が辺地）

- ・都市計画区域外
- ・歴史的風致維持向上計画における歴史的風致の存在地域において区域設定
- ・移住お試し住宅、若者定住促進住宅が立地

③檜川地区（過疎地域）

- ・都市計画区域外
- ・歴史的風致維持向上計画における重点区域である木曽平沢・奈良井において区域設定
- ・BYAKU Narai等の観光拠点や、滞在拠点が立地
- ・旧檜川中学校利活用による新たな拠点を整備（工事中）

塩尻市全体図



特徴1. 入り口となる協働・共創（なりわい）の拠点

促進地域① 大門地区



シビック・イノベーション拠点「スナバ」

約100名の社会起業家コミュニティが形成
されている起業家育成・支援施設 (H30年3月整備)



地域DXセンター「core塩尻」

コワーキング・シェアオフィス・交流スペースを
備えた官民共創でまちを変革する拠点 (R5年3月整備)



レベル4 自動運転バス 社会実証事業

KADO

自営型テレワーカーが安心して働く専用
コワーキング施設 (R2年3月施設拡張)



特徴2. 民間事業体の活動・活躍

NPO法人MEGURU(めぐる)

■団体概要

所在地:長野県塩尻市大門八番町1-28
 代表理事:横山暁一
 設立:2020年11月24日
 社員数:18名(業務委託含む)
 事業内容:地域特化型人材サービス業

(令和7年4月14日塩尻市特定居住支援法人指定)



「塩尻Lab」
 総務省「関係人口創出・拡大事業」モデル事業に選出

■コンセプト

「地域の人事部」をテーマに法人の人的資本経営の推進や個人の多様なキャリア形成を地域ぐるみで支援。現在、行政・商工会議所・金融機関・大学の11団体で全国初の「塩尻の人事部連携協定」を締結し、その中核団体として地域一体となった人材確保・育成・定着を推進中。



「地域の人事部」 産官学金11団体で全国初の連携協定を締結
 経産省のモデル団体／18名のメンバーで事業を推進中

関係人口との共創プログラム「塩尻Lab（ラボ）」

地域外から募集して、地域の未来に向き合う“本気”の経営者・事業責任者の課題に対峙・伴走する**2ヶ月間の共創プログラム**を開催。仕様書と呼ばれる**課題解決の計画書を作成**。共感型求人メディア「ながの人事室」で、施策の担い手を副業人材として募集し解決策を試行！！

2020年からの**6年間で20件以上のテーマ**で、**100名以上の地域外の人材**が参加！

塩尻Lab第6期 参加者募集説明会 2025 5/12~16 12:00~13:00



あなたの経験と共感で、
まちはもつとおもしろくなる

塩尻Labの期間

対話

問題設定

「なぜやりたいのか」「これまで何をやってきたか」「何か課題になっているか」「それはなぜか」

議論

問題解決

「どうすれば解決できるのか」「解決のために何が足りないのか」

施策実践

特徴3. 市街地から農山村部への拡がり

移住者や関係人口が①大門地区を「なりわい」の拠点にしながら、新たに農山村部（②北小野、③檜川）で「住まい」「コミュニティ」の動きへ

森林や町並み・古民家など
地域資源を活用した誘客や二地域居住によって
森林資源と地域経済の好循環を展望



中山道宿場町・奈良井宿



一棟貸し滞在施設
日々別荘



宿泊施設
BYAKU Narai



近年増えてきた移住者も、
地域に溶け込んで、持続可能な
地域づくりの実践計画を策定



歴史的風致「小野神社祭礼」と、住まいの拠点施設を生かした事業・事務により、二地域居住等を促進

移住者などから見た地区魅力の定義や、地域資源の発掘、発信に向けた設計図づくり

北小野らしさってなんだろう？ 北小野地区の未来を考えるワークショップ
開催時の様子

第一回 令和7年1月15日

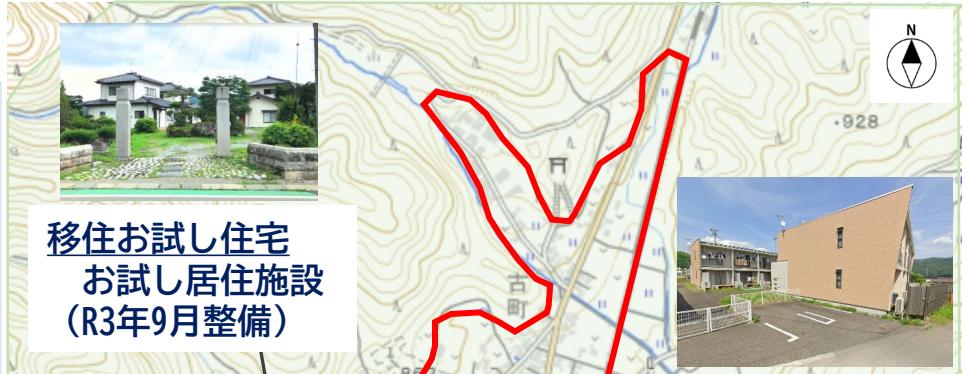


北小野らしさを
皆さまで
再確認して
いきます



第二回 令和7年1月25日

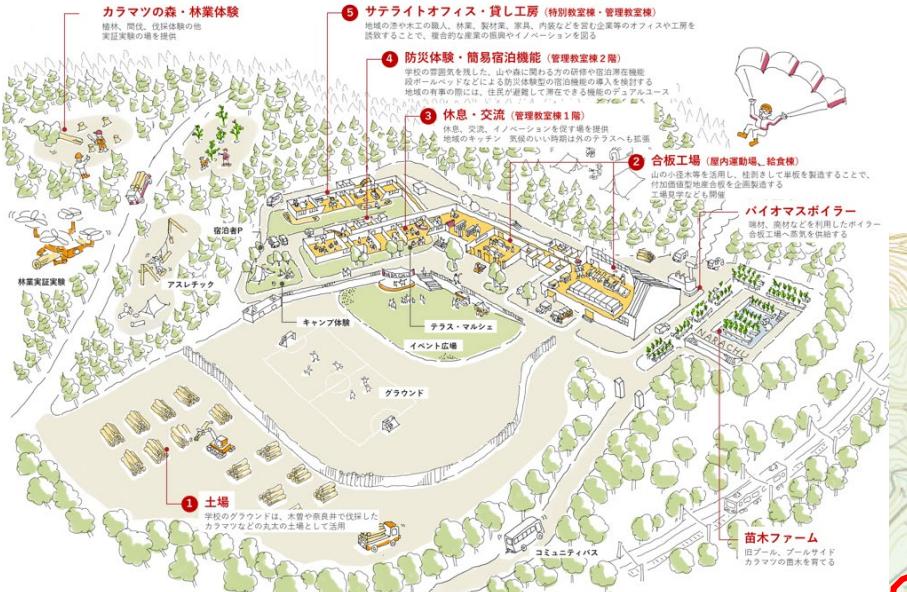
幅広い
年齢層の方に
参加していただき、
活発に意見を
出し合いました



歴史的風致「木曽漆器」「奈良井宿と鎮神社祭礼」を生かしたなりわいや住まいの拠点施設に、地域資源である「森林」の拠点施設を新たに加え、これらを生かした事業・事務により二地域居住を促進

旧檜川中学校（森林ハブ拠点）

工場・事業所、工房、宿泊施設（R7年改修中）



中山道宿場町・奈良井宿

凡例
— 促進区域
■ 歴史的風致



日々別荘
一棟貸し滞在施設
(R2年11月整備)



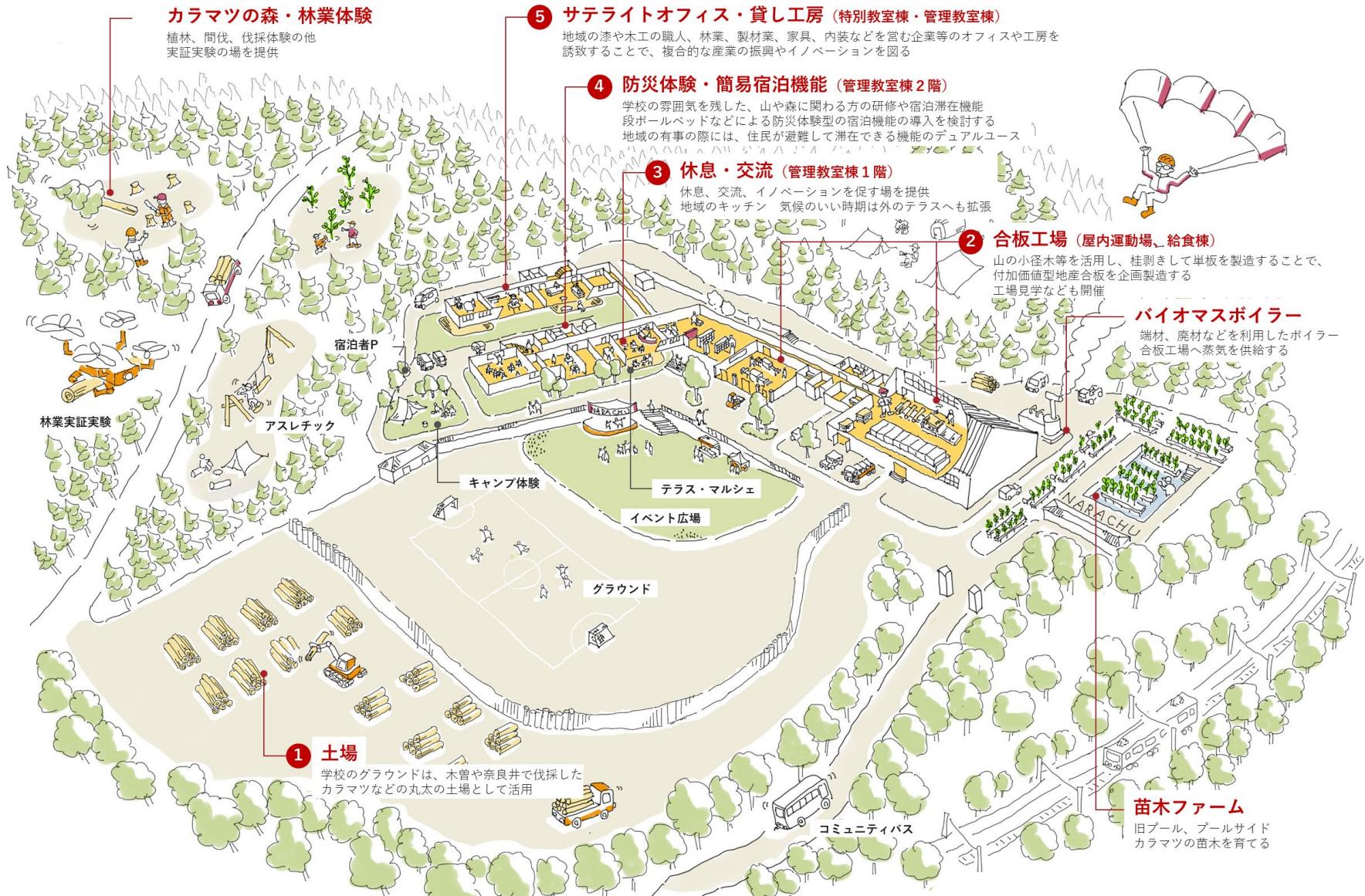
移住お試し住宅
お試し居住施設
(R7年整備)



BYAKU Narai
古民家改修宿泊施設
(R3年3月整備)

木曽の山と都市をつなぐ「森林ハブ拠点」

令和4年度で閉校となった旧檜川中学校を、民間企業等との共創事業によって、合板工場・事業所、簡易宿泊機能などを備えた施設へ利活用するため、改修中



二地域居住実践者から

自動運転社会実証



竹内 慎吾さん
(東京都↔塩尻市)

外から見た塩尻市の印象は？

「なんと言つても人」ともに自動運転に取り組んでいる市の方々の前向きさ、ひたむきさ、共に創り上げる強いパートナーシップに感銘を受けています。自動運転は地域に根ざすものなので、地域にお住まいの方々の共感、受容性も重要で、これほど自然に受け容れてくれ共存している地域は他にありません。

塩尻市との関わり・暮らしありは？

日常の暮らしでも優しさがあふれており、飲食店からコンビニまで丁寧で温かみがあり、交通マナーも非常に良く安心して暮らせる環境です。さらに地域のために活動する方も多く、市政と住民が一体で自身が住むまちをより良くしようという気概を随所に感じています。

自動運転レベル4

- 2024年度の実証実験では、塩尻駅から塩尻市役所までの片道を対象としたレベル4走行(特定自動運行)に係る許可を取得し、日本で初めて歩車混在の一般公道における運転席無人バスの運行を実現



▲運転席無人のレベル4走行

2025年度運行

- レベル4社会実装路線として全長約5kmの市街地ルートを2ルート構築し、2027年度の社会実装を目指す
- カインズ・シャトレーゼ等の大手事業者と連携した乗車キャンペーンや地域商店とのコラボ商品開発など、民間企業との事業連携を展開中



▲自動運転×カインズ×デリシア キャンペーン



▲シャトレーゼコラボ商品販売

二地域居住実践者から

シビック・イノベーション拠点
「スナバ」を利用



北山 乃理子さん
(東京都⇒塩尻市)

外から見た塩尻市の印象は?

スナバでは多様な面白い人が集まり、自動運転をはじめとして行政が柔軟で面白い取り組みがたくさん行われている印象です。訪れた人をぐぐっと引き込む魅力ある塩尻市と周りにも伝えています。

塩尻市との関わり・暮らしありは?

東京一塩尻の2拠点生活です。市内にマイホームも購入し、東京の友人たちが訪れ、塩尻の友人とも交流する場所になってます。現在は、コンサルスキルを活かして振興公社支援や商工会議所で地元企業の経営相談に乗っているほか、スナバ発の様々なプロジェクトにも関わり活動しています。



2018年8月にオープンした一般財団法人塩尻市振興公社が運営するシビック・イノベーション拠点

「生きたいまちを、共に創る」をビジョンに、課題や欲求を自分ごとで考え、行動を起こす「シビック・イノベーター」を増やし、一人ひとりが生きたいまちをつくるためのムーブメントの創出を目指している。

その実現に向け、コワーキング、アクセラレーター、ラボの3つの機能を柱として、「人を創る」「事業を創る」「場を創る」事業を展開。

スナバをきっかけとして多様な事業やプロジェクトが創出

地域の人事部



大門マルシェ



持続可能なビジネスに挑戦する
地域の起業家に向けた
事業を加速させる
4ヶ月の実践型プログラム



「喜ばせたい誰かがいる高校生」
に寄り添い、実際に高校生が
事業を起こすためのプログラム



LOCAL NIGHT PICNIC



二地域居住実践者から

塩尻ワイン大学3期卒業生



広瀬 尚克さん
(東京都 ⇄ 塩尻市)

外から見た塩尻市の印象は?

東京から特急一本で行け、駅から家や畑まで歩けるなど利便性は良いです。魅力はオプションの多さ。田舎暮らしもできるし、利便性を求めるなら駅周辺に住めばいいと思います。行政の塩尻ワイン大学や、民間の週末ワインメーカー、コミュニティワインヤードなどの受入体制があり、標高の高さという他地域にはない土地と気候や、夏の涼しさも魅力です。真面目な信州の人柄も自分と合うと感じます。

塩尻市との現在の関わりは?

ワイン用のぶどうをボトル換算で3000本ほど栽培。今後は耕作放棄地の増加が懸念されるので、自分が二拠点モデルの一つになれば、地域に貢献できるかもしれません。

塩尻ワイン大学とは

本市のワイン産地維持と地域ブランド力の強化、ワイン産業全体の活性化を目的に、ワイン用ぶどうの栽培やワイナリーの設立を目指す方を全国から募り、栽培技術、醸造技術、経営手法などを習得する講座を3年間（第1期生は4年間）に渡り提供することで、受講生の夢の実現とワイン産業の人材の確保・育成を図る取組みです。

平成26年度の開講以来、これまで60名の卒業生を輩出しており、県外から多くの方に受講いただいております。

	第1期生 (H26-29)	第2期生 (H30-R2)	第3期生 (R3-5)	第4期生 (R6-8)
受講生数 (1~3期は卒業生)	25名	21名	14名	20名
(内、県外者)	(10名)	(10名)	(11名)	(11名)

各分野で活躍する卒業生

現在、卒業生60名のうち、8名がワイナリーを開設（本年6月末現在）、30名がブドウ栽培で就農するなど、市内を中心に多くの卒業生が活躍されています。

また、本年秋には、県外出身の卒業生2名の共同による新ワイナリー（卒業生ワイナリーとして9か所目）が市内に誕生しました。

【塩尻ワイン大学卒業生のワイナリー】

いにしえの里葡萄酒	丘の上 幸西ワイナリー	GAUFRARM & WINERY ガウファーム & ワイナリー	霧訪山シードル
ハセ・ド・コダフル	Belly Beads Winery ベリービーズ ワイナリー	IL fait beau イルフェー	TOKYO HATAGO WINERY



塩尻市丘郷原の旧JA施設
を活用し、県外出身の農場ワイナリーを生む
ために、3名のワイナリー「CAVE (カーヴ)
」結婚式を開催する。丘郷原・松
の木ハイツにて、年間2~3回の少額で
ワインバー特区で販売する。
も製造が可能な醸造施設を6月未だ取
得し、9月初めに生産を開始。歴史ある市
を代表する品種ながら、生産量が減つてしま
た關係者に、市役所を訪
れて、百瀬市を
けで」と激励した。付加価値を付
けた商品を販売する。市長は「市にとってもあ
りがたい。良いワイン
の栽培が復興も掲げ、地域に
愛されるワイナリーを目指す。(鈴川智子)

14日市役所を訪
れた関係者に、市長は「市にとってもあ
りがたい。良いワイン
の栽培が復興も掲げ、地域に
愛されるワイナリーを目指す。(鈴川智子)

C A V E (カーヴ)
長: 中川一夫(農)
副社長: 小川喜彦(酒)
社長: 横山義典(酒)
取締役: 横山義典(酒)
本会社を

の橋本義範さん
(63)、取締役

立: 同3年

社員: 8人

立: 8年

社員: 8人

「二地域居住」「関係人口」で目指すもの

【従来からつないできた強み】

- ・ワインや野菜・果樹の産地である「自然・農村風土の恵み」
- ・子育て環境や住環境の良さ「暮らしの豊かさ・確かに」
- ・交通の要衝としての「大都市・近隣都市との交通利便」

【新たに磨いてきた独自の潜在力】

- ・スナバ、core塩尻など「挑戦者にやさしい環境」「知の交流拠点」

地域課題解決に携わる直接寄与型関係人口のコミュニティが形成

目指す都市像

多彩な暮らし、叶えるまち。 一田園都市しおじりー

【都市像の狙い】 つないできた田園都市の強みに加え、潜在力を強化して

→市内外で繋がりを増やし、共創を促すことで

- ①市民の暮らしの質、幸福感の向上
- ②交流・関係人口の塩尻市への来訪・消費行動・当事者意識・課題解決の増加
- ③生産年齢人口の定住の増加（二地域居住を含む）

→挑戦と共に創を重ね、新しさを創造する都市のブランドイメージを形成し、30年後も“人や組織を引きつける地域”をつくる

【源泉となる強み】

暮らし豊か・確かに
-安心・快適・健康-



New
挑戦を受け入れ
応援する仕掛け



自然・農村風土
の恵み



知・価値・意味の
創造・集積・拠点



大都市・近隣都市
との交通利便



【第六次塩尻市総合計画】
(令和6~14年度)

第六次総合計画(しおじり未来投資戦略) R6(2024)～R14(2032)

しおじり
未来投資戦略
が大切にしている

3つのこと

その
1

多様な人との共創 が一番のチカラ！



市民のみなさん、そして私たちを取りまく全国そして世界のみなさんと「共に考えて、つくる」共創こそが、急速に変化する社会に対応し、塩尻市により良い未来をつくるためのチカラです。

その
2

将来のありたい姿は、 幸福度の高いまち！



多様な人びとが、日々良好(ウェルビーイング)で、幸福度の高い暮らしができるまちづくりが目標です。そのため、計画づくりの段階で実施したアンケート結果を元に、「幸福度」を戦略の一番の目標にしています。

その
3

成功のカギは、 チャレンジとアクション！



作戦をたてて、それを実行するためには、とにかく多様な人のチャレンジとアクションが必要になります。だからこそ、チャレンジしやすい環境としくみづくりが大切になります。これが、未来投資戦略成功の重要なカギとなります。